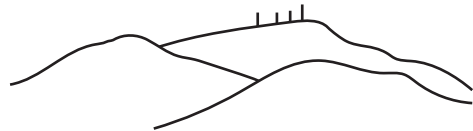


Youth Manna

2018/12/10-12/16



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2018/12/10(月)

箴言 24:1-22

この箇所にはどんな人が登場しているかな？僕らの周りにも色々な人がいるけれど、あなたはどのような人を友達にしたいだろうか。そしてどのような友達でありたいだろうか。

悪者も何回か登場するけれど、そうした人とは交わるなど書いてあるね。もちろん愛を表すべきではあるけれど、一緒になって悪いことをするようになってはいけないんだ。

11,12節を読もう。君の周りには助けを必要としている人はいないかな？もしあなたが気付いているのなら、行動を起こせるように祈って神様から勇気をもらおう。そして、もしイエス様だったらどうしたかを思い出そう！自分にとって損か得かで動くのではなく、愛を持って動けるように祈ろう！

2018/12/11(火)

箴言 24:23-34

ここには2つの大切な教えがあるよ！1つ目は悪者の肩を持つのではなく神様にあって正しいことを言うこと、行うことの大切さだね(24,25)何でもダメだと指摘することが良いのではなく、イエス様のように愛をもって正しいことをすることが大切だよ。2つ目は怠けることについての注意が書かれているよ。私たちが怠けて何もしなかったり、サボっている人生の領域は貧しくなって何も実を結ばないんだね。(30-34)

きみが今サボっていることはないかな？それは大切なことじゃないかな？豊かな人生のために、祈ってやってみよう！！

2018/12/12(水)

箴言 25章

今日読んだ25章は、1節に「ユダの王ヒゼキヤの人々書き写したものとあるように、ヒゼキヤ王の時代に再編集されたものです。北イスラエル王国の滅亡や、南王国ユダが周辺諸国から攻められるなど、不安定な時代であったヒゼキヤ王の治世において、もう一度神様のことばから人生の指針を得ようと、ソロモンの箴言は再編集されました。そして、人と人との関わりの中かで、人を励まし生かすことばを用いることの大切さが語られています。

☞ 聞く時も語る時も、いつも一緒にいてくださる聖霊様に聞くことができますように。今日も、どんなときにも変わることのない真実な主に信頼して歩むことができますように、助けてください！

2018/12/13(木)

箴言 26章

この箇所を読んで何を思うかな？このような人たちとの付き合い方に気を付ける部分と、自分のこととして受け取る部分があるね。

相手を裁くのではなく、そのまま受け入れるのでもなく、聖書の価値観に沿って、正しいことなのかどうかを識別することはとても大切なことです。そして、自分は知恵ある者と思って高慢になっている人より、自分を愚か者と自覚している人の方が望みがあると書いてあるね(12)自分の愚かさを自覚している人には、神様に自分を变えていただくチャンスがあるからなんだ。

繰り返している罪はないだろうか(11)。また、人間関係で悩んでいることはないかな？静まり、へりくだって神様に助けを求めて祈ろう！

2018/12/14(金)

箴言 27章

今日の箇所は人の心にある罪深い考え方について、神様の前でどうあるべきかが書かれています。19節にあるように、罪があればそれが普段の生活にも影響し、神様に従う心があれば同じように生活も変わります。

自分の弱さを恐れて隠したり、偽ったりする事はありますか？私達は自分の弱さを正直に人と神様の前で告白する事でより強められます！しかし自分の弱さを話す事はとても勇気のいる事ですね！同年代の教会の仲間達と互いに弱さを分かち合い支え合う事を神様は望んでいます！自分がキリストのからだとなっていけるように祈ろう！

2018/12/15(土)

箴言 28章

正しい人と、悪い人が順番に具体的に書かれている今日の箇所。どのことも、どっちが神様に喜ばれるか、どちらが罪か、すぐ分かるものが多いんじゃないかな？神様に喜ばれることをみんなは分かることができるんだ。

ただ、学校や習い事、友だちの中にいるときにそれを選ぶのはなかなか難しいよね。頭では正しいことが分かっているけど、周りがそうじゃないといつのまにか正しくないことも「普通」のこととして感じてしまう。友だちの多くがしていることなら「しょうがない」って思っちゃう弱さが私たちの中にはあるんだ。

だからこそ私たちには本当の正しいこと、祝福を受け取れるように神様を見続ける必要があるね。それぞれの場所で神様の価値観に従うことができるよう祈ろう。

2018/12/16(日)

イザヤ 9:1-7

今日は第三アドベントですね！クリスマスはすべての人に最高のプレゼントが贈られる時です！今日の箇所でもイエス様が来られることが思い起こさせることが書いてあります。この時北王国イスラエルはアッシリアの侵入によって滅ぼされようとして、ユダにも脅威が迫っていました。この時に人々は神様ではなく、死人に助けを求め闇のうちにいました。ですが神様はその闇を消えさせ、民は大きな光を見ます。神様は民に喜びを増し加えられ、勝利と平和を与えてくださる存在であるイエス様を与えてくださいます。

私達はその光を今も見えています！今日も光を与えてくださる神様に感謝しよう！